

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		17年度	
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	02 健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	07 病院事業
事務事業名		01	備前病院運営事業
		根拠法令・例規等	医療法 備前市国民健康保険病院条例
		担当課(室)	市立備前病院 事務部
		職・氏名	副参事・庶務係長 今脇誠司
		電話	0869-64-3385

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	出資者である市民
目的(何のために)	市立備前病院基本理念に基づき、安心・安全で地域に開かれた医療の提供と計画的・効率的な病院経営の推進等を図るため
行政活動(どのような方法で)	医療サービスの質の向上のため、各種会議や委員会を開催して運営状況等を毎回検証している。また、委員会に係る医療の各分野について各種研修を実施している。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民が安心して医療を受けられる体制とすることが第一義であり、安定的な経営を行うことによって、市民ニーズに沿った病院を維持・存続させる。

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	幹部会議	回	52	52	48
実績	運営管理会議	回	12	12	12
	業務改善委員会	回	12	12	12
	診療収益向上委員会	回	12	12	12
	診療管理会議	回	12	12	12
	その他病院事業運営委員会	回	37	45	52
	直接事業費	千円	30,468	24,032	20,010
	必要人員	人	7.60人	6.73人	4.89人
	業務費	千円	97,531	77,710	63,459
	国県支出金	千円	284	284	284
	受益者負担	千円			
繰入金	千円				
市債	千円				
その他(一般財源)	千円	97,247	77,426	63,175	
受益者負担比率	%				

結果指標				
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
幹部会議・運営会議	説明	会議出席者延数		
結果指標	量	484	484	480
対前年	%	142.4%	100.0%	99.2%
活動コスト	円	0	0	0
単位当たりコスト	円	0	0	0
各種委員会	説明	各種委員会出席者延数		
結果指標	量	836	836	998
対前年	%	101.7%	100.0%	119.4%
活動コスト	円	2,255	2,181	1,900
単位当たりコスト	円	3	3	2

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
決算における経常収支比率	目標値(A)	100.0	100.0	100.0	100%
	実績値(B)	94.9	89.0	86.1	到達目標年度
	達成率(B/A)	0.95	0.89	0.86	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
経常収益/経常費用×100 これまで「収益的収入-収益的支出」による純利益を指標としていたが、「公立病院改革プラン」に沿った業務内容の見直しとリンクさせるため、国がプラン中に設定している経営効率化の3指標「経常収支比率、職員給与費比率、病床利用率」の中から、経営状態を把握する上で、市民にも最も分かりやすいの経常収支比率を選択した(診療事業は選択)。					

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	
市の関与の 妥当性 必要性	市	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	入院機能や高度医療機器を備えた東備地区の中核病院として安全で良質な医療を提供するためには必要不可欠な事業である。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の コスト 手段	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率的性評価<A-E> B 判定理由・課題認識 八木路線による圏外対象地域への離れ、市立他病院新築や外科医引上げの影響による患者減、市繰入金削減など、経営環境は厳しさを増している。一方で懸念であった病院建替事業がH21から実施となった。経営の建て直しを図り、地域住民のニーズに沿った病院となるよう、患者と医療の両サイドの目線に沿った機能性・効率性の確立を大前提として取り組む必要がある。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A-E> C 判定理由・課題認識 地域の人々に信頼される病院として安定した医療の提供を行うことを最大目的としている。そのため、施設の維持・整備を進めていくためには利益を確保する必要がある。
市民参画度	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況		目標値	結果指標量	836	成果指標量	±0		
状況		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	事業全体の中で可能な部分について効果的な事業を実施する。21年度中に設置を予定している「(仮称)備前市病院事業検討委員会」において、22年度未までに地方独立行政法人化及び指定管理者制度導入について、また、経営統合やネットワーク化について検討することとしている。							

総合評価	
20年度は機能評価受審により、委員会開催件数が伸び、結果として認定病院となったことは大きな成果である。ここ数年、診療科目増設、内科土曜開院などを行い、20年度で一般病棟入院基本料の13対1から10対1への変更を行った。今後も院内保育など、可能な事業を積極的に着手する。20年度は外科医3名の引上げに伴う入院患者の大幅減やその風評被害による外来患者の大幅減が影響して著しい収益悪化となったが、21年1月以降は回復傾向にある。22年度以降は繰入金の増額も見込まれるが、今後においても繰越欠損金の解消を目指し、更なる努力を行なう必要がある。 懸念であった病院建替については、平成22年度着工、平成23年度中の開業を目指し、今年度で実施設計を行うこととなった。医療現場職員と患者目線で地域住民のニーズに沿った病院づくりを行い、経営の向上に繋げる。	評価区分 <A-E> B 妥当性 有効性 効率性

平成22年度以降の方向性・内容																	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了																
説明	設置予定の「(仮称)備前市病院事業検討委員会」において、地方独立行政法人化、指定管理者制度導入、経営統合やネットワーク化について検討し、その結果に基づいて方向性を定める予定																
改善がある場合	<table border="1"> <tr> <th>評価の視点</th> <th>改善内容</th> <th>改善時期</th> <th>改善により期待される効果</th> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>医師・看護師等の確保、医療機器整備の効率的運用</td> <td>毎年度</td> <td>医療サービスの向上と安定的供給</td> </tr> <tr> <td>妥当性</td> <td>公立病院改革プランに沿った業務内容の見直し</td> <td>毎年度</td> <td>経営基盤の安定と長期業務運営の推進</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>基準内繰入遵守の要請、各種経営分析によるコストの効率化</td> <td>毎年度</td> <td>当年度純利益の増と繰越欠損金の減</td> </tr> </table>	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果	効率性	医師・看護師等の確保、医療機器整備の効率的運用	毎年度	医療サービスの向上と安定的供給	妥当性	公立病院改革プランに沿った業務内容の見直し	毎年度	経営基盤の安定と長期業務運営の推進	有効性	基準内繰入遵守の要請、各種経営分析によるコストの効率化	毎年度	当年度純利益の増と繰越欠損金の減
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果														
効率性	医師・看護師等の確保、医療機器整備の効率的運用	毎年度	医療サービスの向上と安定的供給														
妥当性	公立病院改革プランに沿った業務内容の見直し	毎年度	経営基盤の安定と長期業務運営の推進														
有効性	基準内繰入遵守の要請、各種経営分析によるコストの効率化	毎年度	当年度純利益の増と繰越欠損金の減														

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。